

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科 総合診療科 呼吸器内科	午前	栗原・武井	細田・武井・網野	栗原・細田	網野・武井・伊藤	栗原・伊藤
	午後	武井	栗原	伊藤	武井	
	夕方診			交替制（第1～4週）		
	呼吸器					細田
◎午後：予約制 ◎夕方診、呼吸器内科：完全予約制						
小児科	午前	岩波	岩波	岩波	岩波	岩波
	午後		岩波			岩波
	夕方診			岩波		
	予約	予防接種		予防接種		
・午後：14：00～16：30まで ・夕方診：16：00～18：30まで ◎予防接種：予約制、14：30～15：30まで						
外科 消化器外科	一般	森下	柘植	柘植	森下	白子
	消化器					森下（第2・4週）
◆金曜日のみ診療9時開始 ◎消化器外科：13：30～15：30まで						
整形外科	柴田	柴田	柴田		柴田	
◆月曜日のみ診療10時開始 ★水曜日のみ受付10：30まで						
耳鼻いんこう科 専門外来 のみこみの外来	午前	横田	岩下	横田	岩下	横田（第1・3～5週）
	午後					横田（第1・3～5週）
	夕方診			横田	横田	
	専門	めまい・横田	補聴器・横田		睡眠時無呼吸・横田	
	のみこみ		細田／横田			
◎午後：予約制（当日予約可）、14：30～16：30まで ◎夕方診：予約制（当日予約可）、17：00～18：30まで ◎めまい、睡眠時無呼吸：予約制、14：30～16：30まで ◎補聴器：完全予約制、14：00～16：30まで ◎のみこみの外来：完全予約制						
産婦人科	山田					
皮膚科			菅谷			
眼科			山梨大（交替）			
★受付10：30まで						
精神科・心療内科					木下（第2週のみ）	
★受付13：00～13：30まで						

●受付時間は原則8時00分～11時30分、診療開始は受付時間の30分後からとなります。なお、診療科・曜日によって異なる場合があります。  
●急な体調不良で、平日午後受診を希望される場合はお電話にてご相談ください。但し、医師の状況等により受診希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。  
●休診日：土曜日、日曜日、祝日、5月1日、12月29日～1月3日  
★諸事情により、急遽休診や代診等になる可能性があります。あらかじめご了承ください。  
★上記担当表は変更される場合がありますので、病院ホームページにてご確認ください。

ご予約・お問合せ先  
(平日12:00～16:00) ☎0265-36-2255


～新入職員紹介～

皆さまよろしく  
お願いします。



診療体制・発熱外来についてお知らせ

4月より診療体制・発熱外来対応等が変更となっています。  
詳しくはホームページにてご確認ください。



QRコードはこちら



# ひだまり

下伊那赤十字病院広報誌  
vol.94  
2024年4月発行

このたび院長に就任しました白子隆志と申します。当院の使命として、地域の皆さんの「安心・安全」を確保することにあります。そのために我々病院職員も日々努力してまいります。これは、平時のみならず災害が発生した時にも赤十字病院としての責務を果たしていきます。逆に平時にこそ、防災・減災に対する備えが必要になりますので、ぜひ一緒に備えていきましょう。

この病院が地域に貢献し続けるためには、職員の健康、病院の健康（建物・経営）を守ることも必要になります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

病院長 白子 隆志



## 能登半島地震災害救護・支援報告

### ～救護班・病院支援看護師・避難所支援介護福祉士～

令和6年1月1日発災の「能登半島地震」に、2月4日～8日の5日間、下伊那赤十字病院から救護班が出動しました。避難所の巡回診療や生活環境の調査、こころのケアにあたりました。私たちが現地でも活動できますのも、日頃より皆様から頂く赤十字へのご支援のおかげであると感謝しております。この経験を地域の安全・安心に繋ぐことこそが、今回の出動に意味があるのではないかと感じております。今後も被災地支援を継続していくとともに、松川町含む地域の減災・防災に取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

下伊那赤十字病院 救護班一同



輪島市の病院支援に行ってきました。支援するにつれ被災状況や苦悩を知り、患者様にはよりきめ細やかな看護を、職員の方々には心身の負担軽減に繋がるよう。支援の役割は業務だけではなく、もっと笑顔を引き出す事と学びました。 介護医療院 看護師 伊藤由紀

支援にあたり不安もありましたが、全国から駆けつけた仲間と、いま被災地は何を求めているのかを、日々話し合い・考え・工夫できたことが良かったと思えました。沢山の学びと刺激を受けた事は、貴重な経験になりました。 外来看護師 佐藤浩代

能登半島地震1.5次避難所に介護支援に行ってきました。介護や見守りが必要な高齢者が、一時待機ステーションとして生活している場所となります。多職種によるチームでの支援の大切さを感じる経験ができました。 介護医療院 介護福祉士 松村みどり



日本赤十字社 下伊那赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

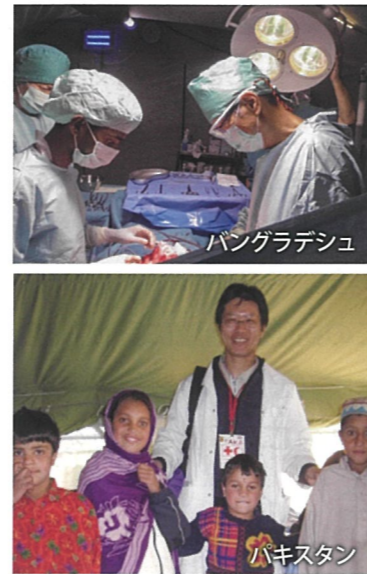


ご出身はどちらですか？

飯田市の出身です。飯田高校卒業後は岐阜大学に進んだため、岐阜県・愛知県・海外を中心に主に外科医・救急医として活動してきました。自宅（家族）は現在も岐阜県高山市にありますが、生まれ故郷への恩返しのため3年前に飯田に戻り、単身赴任で勤めています。ここ松川町にも高校の同級生が多くいます。

以前の勤務先はどちらですか？

岐阜大学を卒業後、6年間は岐阜市で外科医としての研修をしていました。  
平成2年から岐阜県高山市の高山赤十字病院に外科・救急医として勤務し、平成16年に名古屋第二赤十字病院に異動し外科・救急・災害医療をやってきました。  
平成20年に高山赤十字病院に戻り、救命センター長・副院長として外科・救急・麻酔・災害を担当しておりました。この間、アメリカ留学、アフリカ（ケニア・ウガンダ・南スーダン）、南アジア（アフガニスタン・パキスタン・バングラデシュ）の紛争地域で国際赤十字の外科医として長年勤務してきました。様々な国と地域で、テント病院から名古屋の大病院まで様々な環境で仕事をしてきました。前述したように、令和3年に飯田市立病院に移り、外科医として地域医療に携わってきました。  
今回下伊那赤十字病院にお世話になることで、30年間従事した赤十字に再び戻ることになりました。



医師を目指した理由やきっかけはありますか？

見かけは丈夫そうでしたが、子供のころはよく熱を出したり、骨折や交通事故などで医療機関にかかったり入院することが多く、知らないうちに医療の世界に興味を持ったのではないかと思います。私の父は家具職人であったため、似たような職人として働くことができる外科医を選択したのではないかと思います。

ご専門は？

専門は何ですか？と言われると、救急・麻酔・災害医療をしてきた外科医でしょうか。  
大学を卒業後、岐阜大学第二外科で外科医として研修を始めました。近年の外科は、頭（脳神経外科）、胸（胸部外科）、心臓（心臓血管外科）、腹（消化器外科）、子供（小児外科）、乳房（乳腺外科）と別れていますが、当時は大学外の病院では、先輩外科医たちの多くが上記をすべてこなす一般外科医であり、私もそれを見て一般外科医として研修していました。当時は、全身麻酔や他の科の手術（整形外科、産婦人科、泌尿器科など）も一緒にするのが当たり前でした。  
高山赤十字病院では、外科医に加え、救急医、麻酔科医として3人分働きました。これらのことが、長年海外の紛争地での国際赤十字の戦傷外科医（外傷だけでなく、帝王切開などすべての科の疾患を診る）として働くことに変役に立ちました。さらに、名古屋市では救急医療を専門に行うとともに、以降20年以上にわたり臨床研修医、学生教育にも注力してきました。

趣味を教えてください。

中学校では、バスケットボールに夢中でしたが、大学から硬式テニスをはじめ岐阜県学生チャンピオンになりました。その後は、病院勤めなので公式な試合には出られませんが、その後も地域の人たちと定期的にテニスを続けております。走ることは本来苦手なのですが、基礎体力づくりと地域の探検を兼ねて、休日のジョギングをしております。松川町もあちこち探検するつもりですので、みなさんとどこかでお会いすることになると思います。

趣味といえるかわかりませんが、数年前よりボケ防止目的で絵（アクリル画）を描くようになりました。

決してうまいということではありませんが、自分が旅行で訪れた場所を思い出しながら描いてみるとその時のにおい、寒さ、明るさなどの思い出がよみがえってきます。

長年暮らした高山の絵が多いですが、今後長野県の絵も増えると思います



御射鹿池



白川郷

好きな食べ物や愛読書など教えてください。

昔から食に対するこだわりが無いのでなんでも食べます。学生のころから、自炊することに慣れていたので、共働きの我が家では早く帰宅の方が料理することが多く、半々で自分がしていたと思います。幸いにも、学生時代からあまり太らずに来ることができました。ずっと単身赴任ですので、これからも簡単な料理で暮らすことになりそうです。

読書をすることは、海外での派遣中が一番できました。西村京太郎のミステリー小説をたくさん読んでいました。最近では視力低下もあってなかなか本を読もうとはしない自分を憐れんでいます。愛読書といわれると難しいのですが、今でも松下幸之助さんの『道をひらく』を人生の参考にしています。

みなさんは、さだまささんの「風に立つライオン」という、歌、小説、映画（大沢たかお、石原さとみ、真木よう子・・・）をご存じでしょうか？アフリカで働く医師の物語ですが、映画制作にあたって私が働いていたケニアの戦傷外科病院であるロピディン病院での派遣中の私の日記、写真、動画を大沢さんに提供し2015年に映画が公開されました。最後のエンドロールに名前が載っていますので、興味のある方は一度ご覧になって下さい。



ペットは飼われていますか？

現在、高山に犬がいます。ジャックラッセルテリアという洋犬ですが、初心者が飼ってはいけない犬（難しい）ということを知らずに、ペットショップで売れ残った犬と一目ぼれしてしまい13年になります。妻がハイチ地震で派遣中に東日本大震災が起こり、私が石巻赤十字病院への急な派遣に出たときには、1週間飯田の兄に預けることになりました。その後も夫婦ともに国際救援に出かけるたびに、家に残ったほうが犬の世話をするルールになっています。

現在、私が「飯田での医療救援中」なので妻が面倒を見る形になっています。犬を飼い始めたきっかけは、医師の不健康な生活を25年以上送り、常に頭痛を抱えてきたため、犬を飼うことで生活を正常なリズムに戻すという目的でした。飼い始めはしつけなどで毎日格闘し後悔しましたが、徐々に犬と生活を共にすることで次第に心が和むようになり慢性頭痛も消失しました。「アニマルセラピー」と呼ばれる、がん患者さんや認知症の方に動物と接することで症状の改善を認められることが知られているように、我々夫婦もこの治療を受けていることになります。



気分転換に何かされていますか？

医師の職業病なのですが、自分の患者さんのことを常に考えています。すなわち患者さんの状態が良ければ気分も良いのですが、思うように改善しない場合は気分も落ち込みます。気分転換は、食べて寝ることですが、前述したようにテニスやジョギングをすることで気分をポジティブな方向に上げるようにしています。汗を流し、エンドルフィンという物質が脳を刺激し良い考えが思いつくことがあるので、疲れていても少し走ることにしています。また、近くの里山に登ることも好きですので、中央アルプス、南アルプスが眺望できる松川町の環境が気分転換になると思います。

白子先生、インタビューに答えていただきありがとうございました！  
地域の皆さま、白子院長はじめ職員一丸となって頑張っまいますので、  
よろしく願いいたします。

